

資料5 全体評価書(案)に対するプロセス評価委員の意見聴取結果

No.	対象箇所	意見の内容	委員	意見への対応（案）	全体評価書(案)の修正有無
1	資料6－1 全体評価書 I.審査経緯の項目2 説明欄 2行目	誤字の類と思います。 3分の2以上の出席（により・・・とあるが、により前の（は不要では？	木下	"（”は不要につき、削除します。	有
2	資料6－1 全体評価書 I.審査経緯の項目6 説明欄 1行目	誤字の類と思います。 案件の要望者：民間規格作成団体とあるが、民間規格等作成団体（等が必要ではないか？）	木下	"等"を追記します。	有
3	資料6－1 全体評価書 I.審査経緯の項目9 説明欄 9行目	誤字の類と思います。 添付資料 資料1の付属書1とあるが、付属書1（算用数字）は、付属書1（ローマ数字）なのか？ (4／4ページの添付資料欄の表記は、ローマ数字のようである)	木下	附属書1が正しいので、III.添付資料 資料1 技術評価書（附属書1を含む）の"附属書1"を"附属書1"に修正します。	有
4	資料6－2 資料1 技術評価書 附属書1	資料6-2 資料1「WES 9801:2025特定認定高度保安実施者による保安検査基準」に関する技術評価書 附属書1 審査申請する規格基準類の要件（チェックリスト） 【項目】「9.規格の維持管理責任」評価内文書 "母体となる最新のAPI/ASME規格改定動向を反映"について。 WES 9801 : 2025（改定：2025年7月1日 引用規格 API570:2016と記載）。 API 570最新版2024は2024年2月に発行されており、最新動向反映の文言で言えば"WES 9801:2025の引用規格はAPI 570:2024"の表記で良いのでは（項目には規格改定見直し 少なくとも5年に一度実施との記載とありますか）	渡	引用規格の中でもAPI 510やAPI 570などの基盤となる規格は、使用者に配慮し翻訳版を発行していますが、WES 9801-2025を作成した2024年時点ではAPI 570-2024翻訳版はまだ準備中だったため、引用規格は当時、翻訳版で発行されていたAPI 570-2016(2018追補版)のままとしておりました。 規格作成時に、WES 9801-2025の内容に大きく影響する変更がないことを確認しているが、用語定義の修正などの細かい反映を行うとともに、引用の切り替えは、API 570-2024翻訳版の発行に合わせて、WES 9801-2026（2026年7月発行予定）となる予定です。 なお、定期改正を5年としていますが、年版指定の規格が改正された場合は、都度改正点を確認し、WES 9801の内容に大きな影響がある場合は、定期改正を待たずにWES 9801に反映し改正を行います。	無
5	その他	今回の審査対象となる事項の概要説明をお願いしたいと思います。加えて、技術規格評価委員会において当該対象についてどのような事項に特に着目して評価・検討を行ったかについても概要を口頭でご説明いただけるとありがたく存じます。	松平	第3回プロセス評価委員会での審議の際、申請団体より WES 9801 : 2025 の概要をご説明いただきます。 当該規格は、第2回プロセス評価委員会にて全体評価を行った WES 9801 : 2024 の改正版であり、a) 気密試験方法、b) 外部検査による内部検査の代替、c) 溶接補修、d) 安全弁の検査周期等に関する改正が行われています。設備技術規格評価委員会では、これらの改正点を中心に、 ・海外規格（API、ASME）および国内規格（WES）の技術基準が適切に引用されているか ・高圧ガス保安法に基づく要件（法手続き、耐圧試験等）が十分に反映されているか ・実務運用上、安全性・妥当性が確保される構成となっているか ・規格作成時のパブリックコメントにおける技術的論点への対応の適切性および妥当性 ・旧版（WES 9801 : 2024）との相違点（数値・文言等）が適切に整理されているかなどを確認しました。また、旧版から改正版への切替えに係る経過措置についても議論し、要領を改正しました。	無